

事故・ヒヤリハット報告書

事業所名: ○×こどもデイ

サービス: 児童発達支援・放課後等デイサービス

受付番号 HH-2026-018

種別	<input type="radio"/> 事故 <input checked="" type="radio"/> ヒヤリハット (※ 事故に至らなかった「ヒヤリ」も全件記録します)		
発生日時	令和8年6月12日(金) 15:20 頃	発生場所	活動室(自由遊びの時間)
対象児童	山田 太郎 (やまだ たろう)	年齢・性別	6歳・男
けが・受診	なし(けが・受診なし)	保護者への報告	当日お迎え時に口頭でお伝え済み

1. 発生状況(何が・どのように起きたか)

自由遊びの時間に、対象児が活動室奥のおもちゃ棚によじ登ろうとし、最上段に手をかけた。近くにいた職員(田中)がすぐに気づき声をかけ、本児を抱きとめて床に降ろした。転落・接触はなく、けがはなかった。

2. 要因分析(なぜ起きたか)

- 棚の最上段に本児の好きなブロックが置かれており、本児が自分で取ろうとした。
- 自由遊びの時間で職員の視線が他児(3名)に分散し、棚付近が一時的に死角になっていた。
- 棚に転倒防止の固定はあったが、よじ登りを抑止する仕切り・カバーがなかった。

3. 当日の対応(発生時～報告まで)

- 職員(田中)が直ちに本児を抱きとめ、安全な場所へ誘導した。
- 全身を観察し、打撲・擦過傷等がないことを確認(看護担当 中村が再確認)。
- 児発管(鈴木)・管理者(佐藤)へ即時報告し、当日の支援記録に記載した。
- お迎え時に保護者へ状況を口頭で説明し、ご家庭での様子観察をお願いした。

4. 再発防止策

- 棚の最上段にはおもちゃを置かず、本児の手の届く高さに収納位置を変更する。
- 自由遊びの時間は職員の立ち位置を見直し、棚付近を常に1名が見守る配置とする。
- 棚によじ登り防止のカバーを設置し、月次の安全点検チェックリストに追加する。
- 次回の職員ミーティングで本事例を共有し、ヒヤリハットの「気づき」を全員で再確認する。

	役職	氏名	報告日	印
報告者	児童指導員	田中 美咲	令和8年6月12日	<input checked="" type="radio"/>
確認者	管理者	佐藤 花子	令和8年6月12日	<input checked="" type="radio"/>

※ 重大事故(治療を要するけが・骨折・誤嚥・行方不明等)は本報告書とは別に、市区町村・都道府県への報告が必要です。

※ 記入例(サンプル)です。事業所名(○×こどもデイ)・法人名(株式会社○○ケア)・所在地・指定番号・各種番号はすべて実在しない架空のものです。